

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和4年度事業点検・評価調書

4-V-5

4-V-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	エコツーリズムの啓発
節	V.来訪者マナーの醸成	事業主体	佐渡市観光振興課
事業(施策)名	5 エコツーリズム普及啓発	関連団体	県観光企画課、新潟市観光推進課、長岡市観光企画課、上越市魅力創造課、県観光協会、佐渡観光交流機構、佐渡トレッキング協議会
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然環境や歴史文化など地域固有の魅力を来訪者に伝えて、その価値や保全の大切さについて理解促進を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページや各種リーフレットのほか、旅行代理店等への働きかけによってエコツーリズムの普及を図る。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然環境や歴史文化などの資源を保護するため、地域住民と来訪者の協同による保全体制が取れている。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 佐渡エンジョイプランを実施した。 ○ 佐渡の自然を満喫してもらうため、佐渡観光交流機構や佐渡トレッキング協議会と連携し、最新情報の発信を行った。 		
事業計画と実績	<p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡エンジョイプランをプラットフォームとした自然体験コンテンツの開発・販売 ● 自転車、トレッキングなどを中心にアドベンチャーツーリズムを推進する <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● カヤックなど、佐渡ならではの自然を楽しめる体験コンテンツを販売した。 ● 専門アプリやメディアなどと連携して、アドベンチャーツーリズムの趣味層に向けた取り組みを行った。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 商品開発や販売などは推進しているものの、自然保護と結びついているとは言い難く、今後はそういった発展が必要。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自然保護などの啓発のためのレスポンシブルツーリズムの推進。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR4末の達成度】 ◇ 今後は自然保護などをただの啓発に留めず、コンテンツ化していく検討が求められる。</p> <p>[A ・ B ・ C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。